

命の安全と火の始末

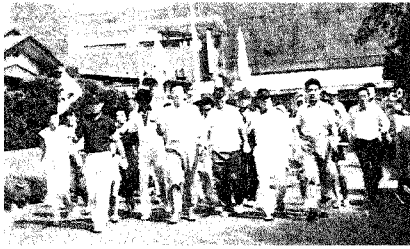
各所で防災啓蒙運動

防災の日にあたる九月一日、宝小学校を会場に、都留市総合防災訓練が実施されました。

この訓練は、消防団、都留警察署、赤十字奉仕団等の協力を得て毎年行なわれるものですが、東海沖大規模地震説が取りざたされる昨今とあつて、参加者も真剣な表情でとり組んでいました。

また、上町自治会（久保田八太郎会長）では、早くから自治防災組織を設けて、活発な防災活動を行なっていますが、さきごろ、町をあげて避難訓練を実施しました。午前九時、大規模地震が発生したという想定でおこなわれた、この訓練大会には、上町自治会の各

8月10日(日)に谷村工高で行なつた
▼ 上町自主防災訓練



戸から約三百名が参加しました。一方、訓練も大切だが、大規模災害を実験体験した人々の、「生の声」を聞くことよつて災害の恐ろしさを認識しようということ、市老人クラブ連合会（角田豊会長）主催による、被災者体験発表大会なるものが、九月四日、市文化会館で開催されました。明治四十年に発生した大幡川大洪水の有様、大正九年の朝日川大洪水、さらに大正十二年の関東大震災など、当時の被災体験者の談や、被災当時の貴重なフィルムの映写に、会場を埋めた人々から、おもわず驚き

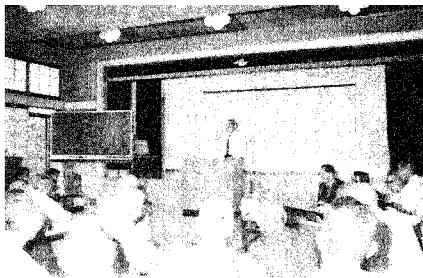
発明のまち都留市

第2回

市民手づくり発明工夫展

の声がもれる一幕もありました。言い尽くされた言葉ではありませんが、災害は忘れた頃にやってくるといひます。みなさんも、もう一度防災について、家族で語り合つてみましょう。

▼ 被災当時のもようを語る体験者



都留市は古くから城下町、甲斐絹の里として栄えてきました。また、戦後は機械金属工業が興隆し、躍進を続けています。産業の発展を一層身近なものにし、ふるさとづくりを進める意味合いから、つきにより第二回市民手づくり発明工夫展を開催することになりました。

ふるつてご応募ください。一、目的 発明を通じ、ふるさとづくりを推進する。

一、課題 自由
一、資格 都留市民
一、搬入日 十月三十、三十一日
一、表彰 二十名に市長賞、出品者に参加賞

一、審査 市長、議長等
一、展覧日時 十一月三日〜七日 午前九時〜午後四時
一、展覧会場 都留市役所

あなたも発明家

いつでも発明講習会講師を派遣します

市では、十一月三日から七日まで第二回市民手づくり発明工夫展を開催し、発明によつて新しいまちづくりを推進することになりました。

この発明講習会を受講され、ご自身が発明家となり、手づくりで発明品を完成させ、それを展覧会に出品してみませんか？ つくる楽しさ、工夫する楽しさ、完成させる楽しさをたっぷり味わ

ってください。発明は、だれでもその気になりさえすれば、すぐできるもので、決してむずかしいものではありません。

他を思いやるやさしい愛の心持ちと、現在使われているものの欠点短所を探求できれば（欠点を探求できればその発明は六十パーセント解決といわれます）あとはその欠点に対し定石として、発明の仕方、方法を適合させるだけでよいわけで、決してむずかしいものではありません。

要は発明の仕方、方法のコツを覚えるだけでよいのです。また、日常の身の回りにあるものを活用してゆく大切さをお互いに考え、小さな発明、工夫を心がけてゆこうとするものです。

講習会では、このほか発明とはどんなものか、発明の効果、発明の楽しさ、発明と人づくりなどについて皆さんとともに勉強しようとするものです。

どうぞ遠慮なく皆さんの自治会やグループ単位で申し込みください。講師を派遣します。

毎月十五日（土・日・祭日の場合はつぎの平日）に発明相談も行なっております。（今月の予定は、最終ページをご覧ください。）

あなたも発明家となつて、第二回手づくり発明工夫展に出品して新しいまちづくりに参画してみよう。

